

**Windows® 7 の概要**

Windows 7 の簡単な紹介

2009 年 1 月発行

このドキュメントに記載された内容は、このドキュメントの発行時点における米国 Microsoft Corporation の見解を示すものです。マイクロソフトは市場の変化に対応する必要があるため、このドキュメントの内容に関する責任をマイクロソフトは問われないものとします。また、発行日以降に発表される情報の正確性を保証できません。

このドキュメントに記載された内容は情報提供のみを目的としており、明示または黙示に関わらず、これらの情報についてマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。

お客様ご自身の責任において、適用されるすべての著作権関連法規に従ったご使用を願います。このドキュメントのいかなる部分も、米国 Microsoft Corporation の書面による許諾を受けることなく、その目的を問わず、どのような形態であっても、複製または譲渡することは禁じられています。ここでいう形態とは、複写や記録など、電子的な、または物理的なすべての手段を含みます。ただしこれは、著作権法上のお客様の権利を制限するものではありません。

マイクロソフトは、このドキュメントに記載されている内容に関し、特許、特許申請、商標、著作権、またはその他の無体財産権を有する場合があります。別途マイクロソフトのライセンス契約上に明示の規定のない限り、このドキュメントはこれらの特許、商標、著作権、またはその他の無体財産権に関する権利をお客様に許諾するものではありません。

別途記載されていない場合、このソフトウェアおよび関連するドキュメントで使用している会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などの名称は架空のものです。実在する会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などとは一切関係ありません。

© 2009 Microsoft Corp. All rights reserved.

内容

[はじめに 2](#_Toc220663615)

[エンド ユーザーにとっての Windows 7 の意味 3](#_Toc220663616)

[IT プロフェッショナルにとっての Windows 7 の意味 6](#_Toc220663617)

[Windows 7: 基本的な機能の概要 8](#_Toc220663618)

[まとめ 10](#_Toc220663619)

# はじめに

マイクロソフトでは、常に最大限のコンピューティング パワーを幅広いユーザーにもたらし、手ごろな価格で使用できるテクノロジにおいて優れた選択肢を提供してきました。近年、ユーザーによるテクノロジの使用方法は大幅に変化してきました。ユーザーは、日常的に使用するさまざまなデバイスにおいて一貫性のある接続型のエクスペリエンスが、必要なときにいつでも、どこからでも利用できることを望んでいます。ユーザーは、PC、携帯電話、およびその他のデバイスが、よりわかりやすく、より高い信頼性のもとで機能することを求め、さらに、ユーザー情報が安全に保護されることを求めています。ユーザーはさまざまなデバイス、ソフトウェア、およびサービスから、自分の習慣、好み、優先度に一致するものを選択したいと考えます。同時に、クライアント アプリケーションから接続型アプリケーションおよびインターネット サービスへのシフトによって、ソフトウェア業界の技術革新のペースに関する期待が高まっています。

マイクロソフトは、Windows® 7 によって、アプリケーション、サービス、およびデバイスにこれまでにないユーザー エクスペリエンスの基盤を提供します。Windows 7 は、マイクロソフトが莫大な投資を行って開発した Windows Vista® の基本的な機能を基に構築されており、セキュリティ、信頼性、およびパフォーマンスが向上しています。Windows 7 では、PC の管理性を強化し、優れた新しいエクスペリエンスの導入、俊敏性、信頼性、安全性の向上、現在の強力なハードウェアへの最適化が行われているほか、現在広く使用されているデバイスとの容易な接続が実現します。

Windows 7 には、ユーザーやパートナーのフィードバックをより密接に開発プロセスに組み込む、新しいエンジニアリングのアプローチが反映されています。これにより、アプリケーションやデバイスの互換性の維持に重点を置きながら、画期的な新しい機能を提供できます。Windows 7 によって、マイクロソフトは一貫性が高く、予測性が高いリリース スケジュールを確立し、PC エコシステムに関連するパートナーが Windows が提供する新しい機能に基づいて容易に、短期間で構築できるようにすることを目指しています。

このドキュメントでは、Windows 7 オペレーティング システムの機能および利点のいくつかを簡単に紹介します。エンド ユーザーや IT プロフェッショナルに対する主な利点について説明し、Windows 7 でもたらされる新しいエクスペリエンスのごく一部を紹介します。 Windows 7 に関するより総合的な概要については、『Windows 7 Reviewers Guide』、『Windows 7 Developer Guide』、および『Internet Explorer® 8 Beta 2 Reviewer's Guide』を参照してください。

# エンド ユーザーにとっての Windows 7 の意味

Windows ユーザーの PC への依存度は以前にも増して高まっています。エンド ユーザーはコンピューターで行うすべての作業を迅速かつ容易に行えるようにしたいと考えています。使用するデバイスが PC と連携して適切に動作したり、Windows で家庭内のテクノロジを連携させることができれば大変便利です。Web 上で過ごす時間が増えているため、エクスペリエンスが高速かつ安全であることが求められています。また、オフラインのエクスペリエンスとの一貫性があれば、同じ作業をするために 2 とおりの方法を覚える必要がなくなります。

Windows 7 を試してみてください。その内容にご満足いただけるはずです。

Windows 7 で、マイクロソフトはエンド ユーザーのエクスペリエンスを 3 つの主な領域で向上させることを目指しました。

**好みの方法での作業:** Windows 7 には、ユーザーが期待する基本的なパフォーマンス、信頼性、およびセキュリティ機能が用意されており、Windows Vista® と同じハードウェア、アプリケーション、およびデバイス ドライバーと互換性を保つように設計されています。ユーザーのプライバシーやデータを保護したり、PC を常に円滑に実行できるようにしたり、問題から迅速に回復できるようにする新しい機能もあります。

**日常的な作業を迅速かつ容易に:** Windows 7 では、最も頻繁に行う作業が合理化および簡素化されています。機能が向上したナビゲーションと合理化されたユーザー インターフェイスによって、よく使用されるリソースにすばやく到達できます。自宅、オフィス、外出先のどこにいても、すべての PC およびデバイスで簡単にデータを共有できるようになっています。Windows 7 と Windows Live™ によって、関心を持っているユーザーや情報に常にアクセスすることができ、Internet Explorer 8 によって、より高速、安全で、生産性の高い Web エクスペリエンスが実現されます。

**新しい作業が可能に:** Windows 7 では、マルチタッチ ジェスチャー、手書き入力、音声入力など、PC の操作方法の選択肢が増えました。Windows 7 を使用すると、家庭のオーディオ ビデオ システムやその他のネットワーク接続されたメディア デバイスで、PC に保存された音楽を再生したり、ビデオを見たり、写真を表示したりすることができます。強化された Windows Media Center では、通常の TV 放送か、インターネット放送かを問わず、お気に入りの TV 番組に 1 か所からアクセスできます。また、Windows 7 では、ユーザーの個性に合わせたスタイルで PC をカスタマイズおよびパーソナライズするためのオプションが追加されています。

Windows 7 を使用するエンド ユーザーに優れたエクスペリエンスを提供する主な機能の一部を以下に示します。

|  |  |
| --- | --- |
| **強化された Windows タスク バー** | Windows 7 の新しいタスク バーでは、ユーザーはプログラムやファイルを管理し、必要なプログラムやファイルにすばやくアクセスすることができます。開いている各ウィンドウはグラフィック サムネイルとして表示され、マウスを重ねると全画面のプレビューに拡大されます。アイコンも大きくなり、マウスや Windows 7 の新しいタッチ機能で選択することが容易になりました。各プログラムはタスク バー上の好きな場所に配置でき、よく使用するアプリケーションはすばやくアクセスできるように常に表示しておくことができます。 |
| **ジャンプ リスト** | ジャンプ リスト ([スタート] メニューや Windows タスク バーに表示される各プログラムに 1 つ存在する) を使用すると、必要な情報を簡単に見つけることができます。ジャンプ リストの内容は、作業を行う頻度や最後に作業を行った時期に基づいて自動的に設定されるので、お気に入りの曲や過去に作業したファイルを探す時間を短縮できます。 |
| **Windows® Aero® デスクトップの強化** | Windows 7 では、これまでよりも簡単に複数のウィンドウを操作できます。Windows タスク バーの右端にマウスを重ねると、開いているすべてのウィンドウが透明になり、簡単にデスクトップを表示できます。ウィンドウの境界線を画面の上端にドラッグするとウィンドウが最大化され、画面の上端から離すようにドラッグするとウィンドウが元のサイズに戻ります。2 つのウィンドウの内容を比較するには、ウィンドウをそれぞれ画面横の反対側の端にドラッグすると、各ウィンドウが自動的に画面の半分のサイズに変更されます。 |
| **Windows タッチ** | タッチは、Windows 7 の核となるユーザー エクスペリエンスです。Windows タッチによって、マルチタッチ テクノロジがサポートされ、2 本の指を近づけるように動かすことで画像を拡大し、離すように動かすことで画像を縮小します。[スタート] メニュー、Windows タスク バー、Windows エクスプローラーもタッチに対応しており、アイコンが大きくなって指で選択しやすくなっています。Internet Explorer 8 での Web ブラウジングも容易になっています。指を使って Web ページを下へスクロールしたり、お気に入りのリンクをブラウズしたりすることができます。 |
| **HomeGroup** | Windows 7 の HomeGroup は、家庭の PC やデバイスでのファイルの共有を容易にし、すべてのデータが単一のハード ディスクに存在しているかのように扱うことができます。HomeGroup を通じて、Windows 7 を実行する PC は自動的に互いを認識して接続できます。HomeGroup を設定すると、家庭でのデバイスやメディアの共有が簡単になります。たとえば、書斎にあるプリンターを自動的に家庭のすべての PC で共有したり、書斎のコンピューターに保存されているデジタル写真に家中のどこからでもノート PC で簡単にアクセスしたりできます。 |
| **Device Stage™** | Windows 7 ベースの PC に携帯電話、ポータブル メディア プレーヤー、カメラ、およびプリンターを接続すると、Device Stage によって、各デバイス用にカスタマイズされた単一の洗練されたウィンドウで、デバイスの状態を確認したり、一般的な作業を実行したりすることができます。ポータブル デバイスを接続すると、タスク バーの右側にデバイスの実物に近い画像が表示され、マウスで右クリックすることによってそのデバイスのタスクにアクセスできます。デバイスの製造元は各デバイスのエクスペリエンスをカスタマイズできるので、連絡先の同期、写真のキャプチャ、携帯電話の着信音の作成など、デバイスが提供するさまざまな機能を簡単に見つけて使用できます。 |
| **日常生活と Windows Live との同期** | コミュニケーション サービスや共有サービスは、Windows エクスペリエンスの基本です。Windows 7 では、以前のバージョンの Windows に含まれていた一部の機能が Windows Live Essentials と呼ばれるアプリケーション スイートによって提供されます。これらのアプリケーションは、新しい機能を提供したり、Windows Live やその他の一般的な Web ベースのサービスとの最適な統合を実現したりするために定期的に更新されます。これにより、新しい機能やサービスをいち早く利用することができます。  Windows Live Essentials アプリケーションによって、Windows オペレーティング システムを最大限に活用するソフトウェアを使用して、データにオフラインでアクセスしたり、共有したい写真、ビデオ、ブログ、その他のコンテンツを作成および編集したりできるので、インターネット エクスペリエンスが向上します。また、Windows Live Essentials を使用すると、コンテンツを Windows Live やその他のオンライン サービスに簡単に発行できます。 |
| **Internet Explorer 8 による Web の利便性の向上** | Web ブラウジングは PC で最も一般的なアクティビティです。Internet Explorer 8 では、4 つの主要な領域での機能拡張によって、変化するユーザーのニーズに対応しています。  **高速かつ容易:** Internet Explorer 8 では、起動時間が短縮され、迅速に新しいタブが作成され、Web サイトの読み込みや実行が高速化されています。  **ページを超えた概念:** アクセラレータによって Web ページ上の情報に対するアクションを簡単に実行でき、Web Slice によって興味のあるサイトの変更を監視することができます。  **安全性、選択の自由、および制御:** Internet Explorer 8 では、悪意のある Web サイトやソフトウェアに対する保護が強化されています。Web サイトでユーザーのアクションを追跡する方法の選択および制御が強化されているので、プライバシーの保護に役立ちます。  **互換性:** これらの強化された機能も、Web サイトが正しく表示されない場合や、正しく動作しない場合には役立ちません。Internet Explorer 8 は新しい Web 標準をサポートする一方で、以前のバージョンのブラウザー用にデザインされたサイトについては互換性モードを用意しています。 |

# IT プロフェッショナルにとっての Windows 7 の意味

ユーザーのコンピューターに関する知識は豊富になり、作業で使用するテクノロジにより多くのことを期待しています。また、ユーザーのニーズが変化してきているため、IT プロフェッショナルに対する要望も増加する一方です。現在、IT プロフェッショナルには、コストとセキュリティ リスクを削減しながら、より多くの機能と柔軟なサポートを提供することが求められています。

Windows 7 は、より管理性の高い方法でユーザーの多様なニーズを満たすための柔軟性を IT プロフェッショナルに提供します。 IT プロフェッショナルに対する利点は 3 つの主な領域に分類されます。

**あらゆる場所でのユーザーの生産性の向上:** Windows 7 によって、エンド ユーザーはどこにいても、必要なデータがどこにあっても、生産性を維持することができます。

**セキュリティと管理性の強化:** Windows 7 は Windows Vista のセキュリティ基盤に基づいて構築されており、IT プロフェッショナルが PC やデータをセキュリティで保護するための柔軟性が向上しています。

**PC 管理の合理化:** IT プロフェッショナルが、デスクトップ PC、ラップトップ PC、仮想環境のいずれを管理および展開する場合でも、Windows 7 によって作業が容易になり、Windows Vista で使用していたツールやスキルを活用することができます。

1 年に 1 回以上は更新される Microsoft Desktop Optimization Pack によって、企業のエクスペリエンスが補完されます。Windows 7 と Microsoft Desktop Optimization Pack を組み合わせて使用することによって、企業はデスクトップ インフラストラクチャを最適化し、固有のビジネス ニーズを満たす柔軟性を得ることができます。

IT プロフェッショナルと彼らがサポートするエンド ユーザーにとって、Windows 7 を魅力的なリリースにする主な機能について、いくつか紹介します。

|  |  |
| --- | --- |
| **DirectAccess** | オフィスの外部からアプリケーションやデータに柔軟にアクセスできることは、どの企業の IT 戦略においても不可欠な構成要素です。Windows 7 の新機能である DirectAccess によって、リモート ユーザーはインターネット接続があれば、VPN 接続を開始するための追加の手順を実行することなく、いつでも企業ネットワークにアクセスできます。IT プロフェッショナルは、DirectAccess によって "常時管理された" インフラストラクチャを提供し、IT 管理を簡素化できます。これにより、オフィスの外部にあるコンピューターも正常に実行/管理/更新されます。  (注: DirectAccess を利用するには、IT プロフェッショナルは Windows Server 2008 R2 を展開し、IPv6 および IPSec を実装する必要があります) |
| **検索フェデレーション** | Windows 7 の検索フェデレーションは、ユーザーの PC の範囲を越えた検索を標準でサポートしています。IT プロフェッショナルは、検索エンジン、ドキュメント リポジトリ (SharePoint サイトなど)、Web アプリケーション、および独自のデータ ストアを Windows 7 から検索できるように容易に設定できます。これによって、エンド ユーザーは企業イントラネットや Web を、ローカル ファイルの検索と同じくらい簡単に、使い慣れた Windows インターフェイス内から検索できます。 |
| **BranchCache™** | Windows 7 では BranchCache が導入され、リモート ファイルや Web サーバーのコンテンツを支店内でキャッシュし、ユーザーが迅速にこの情報にアクセスできるようにしています。BranchCache は企業で一般的に使用されているのと同じネットワーク プロトコル (つまり HTTP(S) や SMB) をサポートしているので、これらのネットワーク プロトコルに基づくアプリケーションはすべて、このテクノロジを自動的に利用することになります。また、BranchCache はネットワーク セキュリティ プロトコル (SSL や IPSec など) もサポートしており、承認されたクライアントのみが要求されたデータにアクセスできるようにしています。  (注: BranchCache を利用するには、IT プロフェッショナルは Windows Server 2008 R2 を展開する必要があります) |
| **BitLocker™ および BitLocker To Go™** | Windows 7 の BitLocker ドライブ暗号化機能は、IT プロフェッショナルとエンド ユーザーに優れたエクスペリエンスを提供します。たとえば、ドライブの右クリックによる BitLocker 保護の有効化、必要な隠しブート パーティションの自動作成、およびキー管理の向上などです。また、Windows 7 では BitLocker To Go が導入され、USB フラッシュ ドライブなどのリムーバブル記憶域デバイスのデータ保護を実現します。BitLocker To Go では、IT プロフェッショナルはリムーバブル記憶域デバイスの使用方法を制御できます。たとえば、IT プロフェッショナルは、リムーバブル記憶域デバイスへの書き込みについてデータ保護を要求する一方で、保護されていない記憶域デバイスの読み取り専用モードでの使用を許可することができます。 |
| **Deployment Image Servicing and Management** | Windows 7 の Deployment Image Servicing and Management (DISM) ツールによって、IT プロフェッショナルは単一の統合ツールセットを使用して、オペレーティング システムのイメージを構築および提供できます。DISM によって IT プロフェッショナルができることには、ソフトウェア更新によるオペレーション システム イメージの更新、オプション コンポーネントの追加、サードパーティ製のデバイス ドライバーの追加/列挙/削除、言語パックの追加とインターナショナル設定、オフライン イメージ (ドライバー、パッケージ、機能、ソフトウェア更新を含む) のインベントリの維持などがあります。また、DSIM では、Windows Vista システムのイメージを管理することもできます。 |

# Windows 7: 基本的な機能の概要

Windows 7 のさまざまな技術革新も、オペレーティング システムが基本的な役割を果たさない場合は役に立ちません。PC は信頼性、応答性、および安全性が高い必要があります。ユーザーはラップトップのバッテリが長持ちすることや、利用するアプリケーションやデバイスが PC で適切に動作することを望んでいます。つまり、ユーザーは、ユーザーの望む方法ですべてが "単に動作する" ことを求めています。

これが Windows 7 の基本的な機能が重視される理由です。このことは、Windows 7 ベースの PC を使い始めるとすぐにわかるはずです。Windows 7 は、マイクロソフトが Windows Vista で行った巨額の投資に基づいており、起動が迅速で、高速かつ信頼性が高く、セキュリティが強固で、既存のアプリケーションやデバイスと共に適切に動作し、最新の強力なハードウェアを最大限に活用できるオペレーティング システムを提供します。

**パフォーマンス:** Windows 7 は、以前のバージョンの Windows に比べて、起動、シャットダウン、およびスタンバイ状態からの再開の時間が短縮されています。検索およびインデックス作成も高速になっており、外付けの USB フラッシュ メモリ ドライブを活用してパフォーマンスを向上させることができます。

**信頼性:** Windows 7 の信頼性に関して強化された点として、一般的なメモリ管理の問題を解決するフォールト トレラント ヒープ、診断機能による破壊を減少させるプロセス リフェクション、適切に作成されていないデバイス ドライバーが他のデバイス ドライバーに悪影響を及ぼすことを防止するドライバーのサンドボックス化などがあります。 この結果、Windows 7 ベースの PC の回復力が高くなり、システムの停止や障害が減少します。

**アプリケーションの互換性:** マイクロソフトの重要なエンジニアリングの目標は、Windows Vista で実行されていたソフトウェアが Windows 7 でも同様に、またはより適切に実行されるようにすることです。 この目標を達成するために、広く使用されているコンシューマーおよびエンタープライズ アプリケーションの膨大なリストに照らして、Windows 7 のテストを継続しています。マイクロソフトでは、パートナーに対してあらゆる支援を行い、ソフトウェア開発者がアプリケーションの互換性を保証するために必要なリソースを入手できるようにしています。また、テストされていないアプリケーションや社内で開発されたアプリケーション用に、Windows 7 には互換性を支援する機能が数多く組み込まれています。

**デバイスの互換性:** ソフトウェアと同様に、マイクロソフトでは、Windows Vista で動作するデバイスは Windows 7 でも動作することをエンジニアリングの目標として設定しています。更新されたデバイス ドライバーが必要な場合、ユーザーが Windows Update から直接入手するか、デバイスの製造元の Web サイトにあるドライバーのダウンロード用のリンクから入手できるようにする作業を進めています。

**セキュリティ:** Windows 7 には、セキュリティやプライバシーの保護を向上させる新機能が用意されているほか、ユーザー アカウント制御や Windows Defender などの既存のセキュリティ機能も使いやすくなっています。 Windows ファイアウォールのコア機能に基づいてサードパーティのファイアウォール製品を構築し、Windows ファイアウォールの構成要素を選択的に有効または無効にすることができるので、ユーザーは使用するソフトウェア ファイアウォールを選択したり、Windows ファイアウォールと共存させたりすることができます。

**バッテリ持続時間の向上:** Windows 7 の電源管理機能の向上によって、モバイル PC のバッテリ持続時間が長くなります。バックグラウンドでの処理が削減され、アイドル状態の時間が多くなることにより、コンピューターのプロセッサの電力消費を抑えることができます。また、Windows 7 では、バッテリ持続時間を長くするためにディスプレイの明るさをインテリジェントに調整し、標準画質の DVD の再生時には電力消費を抑え、コンピューターのイーサネット アダプターが使用されていない場合はアダプターの電源をオフにします。スリープ状態を利用して、ワイヤレス接続された PC をリモートから復帰させることもできます。

# まとめ

Windows ソフトウェアは、何十億人ものユーザーの日常的なエクスペリエンスの一部になっています。そのエクスペリエンスは、Web カメラを使用して世界の果てにいる親しい人を訪ねるなど大きな意味を持つものから、お気に入りのプログラムやゲームを起動するなどの簡単なものまでさまざまです。いずれの場合も、ユーザーが満足するかどうかは、そのエクスペリエンスがわかりやすく、すばらしい方法で機能するかどうかによって決まります。Windows 7 を設計するにあたって、マイクロソフトでは大小にかかわらず、顧客満足度を向上させることに重点を置きました。

このガイドでは、Windows 7 がエンド ユーザーと IT プロフェッショナルの両方のニーズをどのように満たすのかについてごく一部を紹介し、Windows 7 によってユーザーの現在の作業がどのように高速化および簡素化され、新しい作業が可能になるかを簡単に説明しています。Windows 7 のプレベータ プレビュー版を試してみたり、入手可能になったらベータ版を使用してみたりすることをお勧めします。